

放射性物質の動き

放射性物質をご存じでしょうか。私たちの健康に影響を与える放射線を出す物質です。東京電力福島第一原発事故によって放出されました。取り除く除染が県内各地で行われ、相双地方の一部では今も続いています。しかし多くの山林では除染が手つかずとなっております。立ち入りや山野草を食べることが禁止されています。福島国際研究教育機構(FIERE)、エフレイは、山などにある放射性物質がどう動くのかを研究しています。

原子力災害に関する
データや知見の集積
・発信 副分野長

おおはら としまさ

大原利真先生



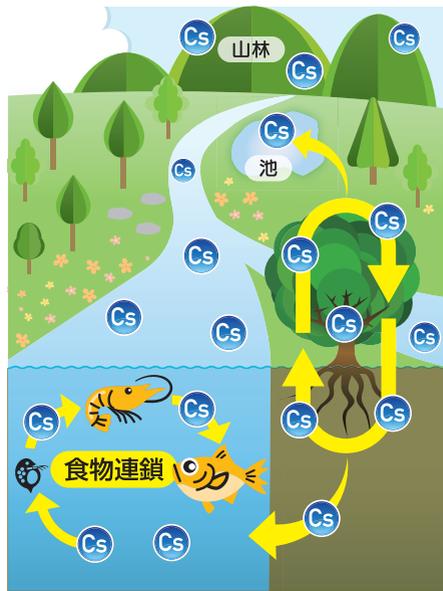
現在、特に注意しなければならぬのは、放射性セシウムです。放射性物質は時間の経過とともに、放射線を出す能力が低下します。しかしセシウムは長期間にわたっ

山菜や魚のセシウム予測

て放射線を出し続け、事故から14年たっても取り組むべき課題となっています。

山林に降ったセシウムは、樹木などの根から吸収されます。葉に移動し、落ち葉として地面に戻り、再び植物に取り込まれるのを繰り返しています。この中には、山菜やキノコも含まれています。

一部のセシウムは雨によって流れ出して川や湖、沼に運ばれます。1



年間川に移動するのは、ごくわずかです。0・1%程度だと言われています。水の中では、大まかに分けると、溶けた状態と土の粒子に付いた状態の二つがあります。セシウムは、微生物や植物、虫などに取り込まれ、それを餌とする魚の体にも入ります。こうした食べる・食べられる関係は「食物連鎖」と言います。例えば相双地方の一部では、アユに含まれるセシウムの量が、完全に食べられる基準を上回っています。

エフレイは山菜や魚類などのセシウムの量がこの先、どうなるのか予測しようとしています。山菜や魚をとる仕事有成り立たない状況があり、関係する人たちの参考にしてもらうためです。

放射性物質の残る山林や河川の資源をどう生かすのかは、地域住民の皆さんの意見を聞き、一緒に考える必要があると思います。科学的なデータを提供し、話し合っていきたいと思っています。

神奈川県出身。北海道工学部卒、同大学院工学研究科修了。静岡大工学部教授、国立環境研究所フェローなどを経てアジア大気汚染研究センター所長。